

2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年1月10日

上場会社名 ユナイテッド&コレクティブ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3557 URL <http://www.united-collective.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 坂井 英也
 問合せ先責任者（役職名） 財務経理部長（氏名） 坂本 拓光 (TEL) 050-3091-3557
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	4,812	3.6	47	△30.6	25	△56.4	11	51.5
2024年2月期第3四半期	4,641	18.6	68	—	57	—	7	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年2月期第3四半期	△1.15		—					
2024年2月期第3四半期	△2.28		—					

(注) 2024年2月期第3四半期累計期間及び2025年2月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	4,047	152	3.0
2024年2月期	3,929	△261	△7.3

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 124百万円 2024年2月期 △289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2025年2月期の配当予想は未定といたします。

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,303	2.1	144	172.4	123	216.5	75	—	13.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2025年2月期(予想)の1株当たり当期純利益は、第9回新株予約権の行使を含めた予定期中平均株式数より算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年2月期3Q	4,339,300株	2024年2月期	3,954,300株
2025年2月期3Q	180株	2024年2月期	180株
2025年2月期3Q	4,148,970株	2024年2月期3Q	3,573,570株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におきましては、ウクライナ情勢、円安進行、物価高騰といった要因が長期化し、わが国の経済活動に大きな影響を与えており、依然として先行き不透明な状況が続いています。外食産業では、原材料や食材、エネルギーの仕入れ価格の上昇、生産年齢人口の減少、スポットワーカーの増加などが続き、店舗運営コスト（原材料費、人件費、水道光熱費など）が増加しており、依然として厳しい経営環境が続いています。

このような状況の中、当社では、当事業年度において通期での黒字達成と債務超過の解消を目指し、緩やかな新規出店とトップラインの回復を図りながら、COVID-19以前よりも筋肉質な経営を目指すため、徹底したコスト管理に取り組んでいます。

当第3四半期においては、「てけてけ」業態の一部店舗において価格改定を実施し、「the 3rd Burger」業態では定期的に期間限定メニューを導入するなど、引き続きトップラインの回復に向けた取り組みを進めてまいりました。「もつ焼き酒場てけてけ」業態においては、1店舗の新規出店と2店舗のリニューアルを行い、合計4店舗に拡大しております。「海鮮井新太郎」業態では、新規出店1店舗に加え、夜に「おでん」の販売を開始し、業態のブラッシュアップを実施しております。なお、当期間中の閉店は2店舗であり、そのうち1店舗は「the 3rd Burger 曙橋店」を「もつ焼き酒場てけてけ」としてリニューアルするための閉店であります。なお、当第3四半期会計期間末時点での店舗数は80店舗（前年同期と同数）となっております。

以上の結果、売上高は4,812,461千円（前年同期比3.6%増）となり、売上総利益は3,601,312千円（前年同期比2.0%増）、営業利益は47,409千円（前年同期比30.6%減）、経常利益は25,209千円（前年同期比56.4%減）、四半期純利益は11,744千円（前年同期比51.5%増）となりました。

なお、当社は単一の報告セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は4,047,372千円となり、前事業年度末と比較して118,042千円の増加となりました。これは主に売掛金が61,385千円、有形固定資産が79,757千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債は3,895,361千円となり、前事業年度末と比較して295,170千円の減少となりました。これは主に未払金が88,151千円増加、一方で、未払法人税等が37,135千円、その他流動負債が58,705千円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が278,619千円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産は152,010千円となり、前事業年度末と比較して413,212千円の増加となりました。これは主に新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ200,889千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績予想につきましては、2024年4月12日公表の数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,548,743	1,477,172
売掛金	222,635	284,020
商品及び製品	43,588	50,153
原材料及び貯蔵品	10,528	12,414
未収入金	8,549	15,208
その他	127,327	155,719
流動資産合計	1,961,372	1,994,689
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,366,763	2,481,821
減価償却累計額	△1,357,887	△1,429,664
建物（純額）	1,008,875	1,052,157
その他	448,158	507,840
減価償却累計額	△344,858	△368,064
その他（純額）	103,300	139,776
有形固定資産合計	1,112,175	1,191,933
無形固定資産	16,330	12,952
投資その他の資産		
敷金及び保証金	785,417	794,911
その他	54,033	52,885
投資その他の資産合計	839,451	847,797
固定資産合計	1,967,957	2,052,682
資産合計	3,929,330	4,047,372

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	225,510	249,328
1年内返済予定の長期借入金	654,928	552,479
未払金	113,784	201,935
未払法人税等	68,096	30,961
賞与引当金	16,072	7,702
株主優待引当金	32,739	25,604
資産除去債務	226	-
その他	325,998	267,292
流動負債合計	1,437,357	1,335,305
固定負債		
長期借入金	2,589,806	2,413,635
資産除去債務	37,122	35,877
その他	126,246	110,543
固定負債合計	2,753,174	2,560,056
負債合計	4,190,531	3,895,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	371,165	572,054
資本剰余金	2,303,720	2,504,610
利益剰余金	△2,963,467	△2,951,722
自己株式	△432	△432
株主資本合計	△289,013	124,509
新株予約権	27,811	27,500
純資産合計	△261,201	152,010
負債純資産合計	3,929,330	4,047,372

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	4,641,738	4,812,461
売上原価	1,113,914	1,211,148
売上総利益	3,527,823	3,601,312
販売費及び一般管理費	3,459,544	3,553,902
営業利益	68,279	47,409
営業外収益		
受取利息	7	128
システム導入負担金収入	7,570	-
受取配当金	0	0
雑収入	3,541	357
営業外収益合計	11,119	485
営業外費用		
支払利息	19,417	21,004
その他	2,205	1,681
営業外費用合計	21,623	22,685
経常利益	57,775	25,209
特別利益		
固定資産売却益	8,447	1,500
資産除去債務戻入益	18,042	-
新株予約権戻入益	-	2,910
特別利益合計	26,489	4,410
特別損失		
減損損失	9,302	-
店舗閉鎖損失	53,693	2,882
特別損失合計	62,996	2,882
税引前四半期純利益	21,269	26,737
法人税、住民税及び事業税	14,027	12,332
法人税等調整額	△507	2,659
法人税等合計	13,520	14,992
四半期純利益	7,748	11,744

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権行使に伴い、当第3四半期累計期間において資本金が200,889千円、資本剰余金が200,889千円増加し、資本金が572,054千円、資本剰余金が2,504,610千円となっております。

(重要な後発事象)

(第9回新株予約権の行使による増資)

2024年12月1日から2025年1月10日の間に第9回新株予約権の行使が行われており、当該新株予約権の行使により発行した株式の概要は以下のとおりであります。

- ① 行使新株予約権の個数 820個
- ② 資本金の増加額 38,208千円
- ③ 資本準備金の増加額 38,208千円
- ④ 増加した株式の種類及び株数 普通株式 82,000株

以上の結果、2025年1月10日現在の発行株式総数は4,421,300株、資本金は610,262千円、資本準備金は1,301,541千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは、飲食事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	158,015千円	144,813千円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、COVID-19の感染拡大を受け度重なる営業活動の自粛やアルコール提供の中止、時短営業等を行ってまいりましたが、前々事業年度末において債務超過に陥ったことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況の存在について認識しております。なお、前事業年度末の資金残高の状況及び今後の資金繰りを検討した結果、当面の事業活動の継続性に懸念はございません。加えて、当該重要事象等を解消するため、不採算店の撤退及び本社の縮小移転等による抜本的なコスト圧縮、資金調達及び資本政策の実施など対策を講じております。

このような状況の中、当事業年度におきましては、「てけてけ」のリモデル店舗及び新業態・新商品の開発、既存業態の店舗QSC向上・管理体制強化によりトップラインの早期回復を図ることで、通期の売上高6,303百万円、純利益75百万円の黒字着地を見込んでおります。なお、当第3四半期累計期間では営業黒字で着地しており、通期においても計画を達成できる見込みと認識しております。

以上のことから、現時点での当社における継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。